

大沢香取神社の彫刻



大沢香取神社



大沢の香取神社の元社
鷺後（さぎしろ）香取神社

明治元年（1868）に建立された本殿（奥殿）には、東西南北、四方の壁にとても立派な彫刻が見られる。棟札によると大沢香取神社の奥殿は幕末の「慶応二丙寅年 八月吉祥日」の「再殿」と記載されている。慶応2年（1866）に再建が行われ、明治元年に終了したのであろう。彫刻師は、浅草山谷町の長谷川竹次郎である。明治以前の様子も描かれた貴重な彫刻と言える。

資料作成日 平成25年2月 作成者 越谷市郷土研究会 加藤幸一 協力者 秦野秀明氏

この資料を作成するにあたり、大沢香取神社様の多大なるご協力がありましたことをここに記します。

大沢香取神社本殿の彫刻 1. 東側面・床上
(胴羽目・脇障子)



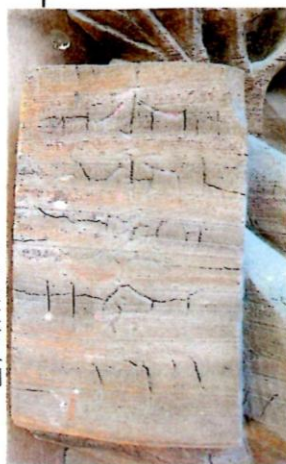
富士の巻狩 (源頼朝)
曾我兄弟の仇討ち場面か



富士の巻狩 (仁田四郎忠常の猪退治)



やおよろず
八百万の神楽奏 (天の岩戸)



木香屋大右工門



虎屋太郎右工門
若葉屋右兵衛
玉屋彦右工門
武蔵屋佐右工門

大沢香取神社本殿の彫刻 2. 東側面・床下 (下羽目)



布袋

中嶋屋
治兵衛

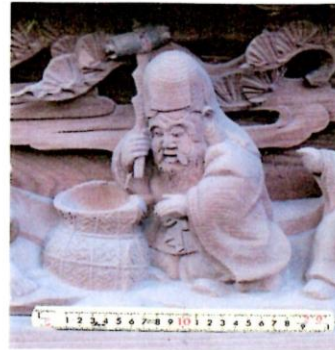


寿老人

中嶋屋
治兵衛



七福神 (布袋・大黒・毘沙門)



福祿寿



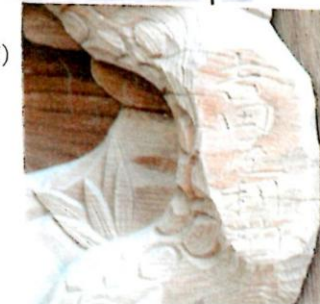
七福神 (寿老人・惠比寿・福祿寿・弁財天)



屋号のマーク



大黒



吉田屋利助

大沢香取神社本殿の彫刻 3. 東側面・屋根下



牧牛



牧牛

越ヶ谷本町
田中屋熊蔵



越ヶ谷本町
黒田熊蔵



黒田市左之門



大沢香取神社本殿の彫刻 4. 東側面・屋根下（拝殿側のみ）



大沢香取神社本殿の彫刻 5. 西側面・床上（脇障子・胴羽目）

「長谷川竹次郎」は、大沢香取神社のこの彫刻をした浅草山谷町の彫物師。



鹿嶋大神宮
香取大神宮

こはい
向拝側



たちからおのみこと あま
手力男 命 (天の岩戸)



猿田彦大神



「鹿嶋・香取神宮」の旗



饅饨屋万治郎
饅饨屋傳吉
靄 屋豊吉
秋田屋源兵衛
小松屋寛右衛門

山城屋伊三郎
福井万治郎
稲葉屋治左衛門
福井權右衛門

(屋号「山七」)

大黒屋
店中

大沢香取神社本殿の彫刻 6. 西側面・床下（下羽目）



中嶋清兵衛



鶏



鶏



中島屋清兵衛



油屋佐吉



孔雀



孔雀



油屋伊左之門
同 八五郎

大沢香取神社本殿の彫刻 7. 西側面・屋根下



基打ち

池ノ端富蔵



竜



虎



獅子舞

口村辰五郎

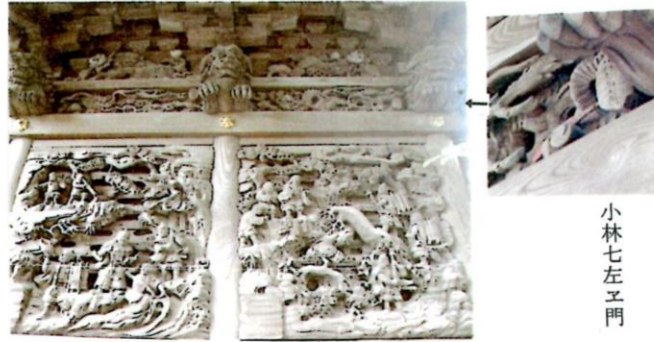
大沢香取神社本殿の彫刻 8. 西側面・屋根下（拝殿側のみ）



大沢香取神社本殿の彫刻 9. 北側面・床上



橘屋権右工門
下妻屋彌七
戸倉屋久兵エ
廣田屋豊次郎



小林七左工門

和泉屋長兵工
河内屋次郎左工門
富口屋茂助
同 吉兵エ



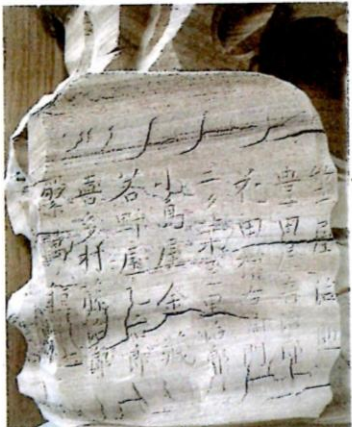
八百万の神楽奏の裏面



源頼光と家来の四天王の一行が山伏に変装して大江山の酒吞童子の鬼退治に行く様子



手力男命の裏面



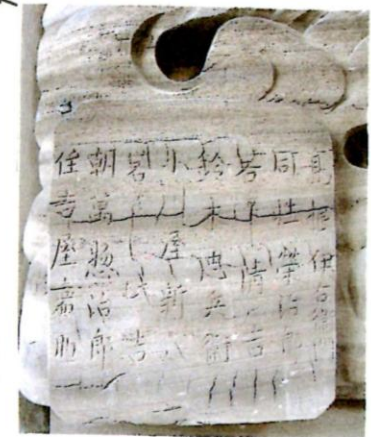
□ 萬種七



向かって左の写真：見張りの鬼たちに毒の酒を差し出す場面

笠屋治助
豊田屋音治郎
花田権右衛門
二夕葉屋里治郎
小島屋金蔵
□ 野屋乙治郎
喜多村藤治郎

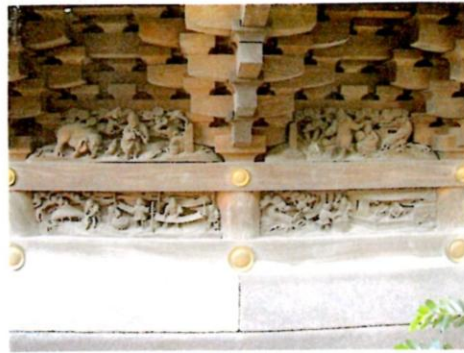
島根伊右衛門
同姓榮治郎
若よし清吉
鈴木忠兵衛
小川屋新八
若よし此吉
朝萬惣治郎
住吉屋嘉助



大沢香取神社本殿の彫刻 10. 北側面・床下 (下羽目)



地蔵橋組
納主
紺屋吉蔵



地蔵橋組
納主
紺屋吉蔵

彫刻された羽目板 (下段) の裏側面



上段：二十四孝のうちの「大舜」
下段：鷺後用水 (逆川) での紺屋の作業風景



願主
芳村五郎吉



願主
芳村五郎吉



上段：二十四孝のうちの「郭巨」
下段：鷺後用水 (逆川) での紺屋の作業風景



善



善

砧 (きぬた)



善
吉蔵

かえるまた
大沢香取神社本殿の彫刻 11. 北側面・屋根下 (墓股)



親子獅子



親子獅子



東京府
橘町二丁目
松坂屋傳兵衛



小林七左衛門



小林七左衛門

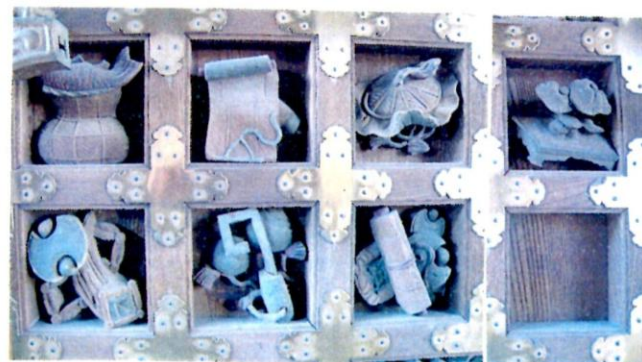
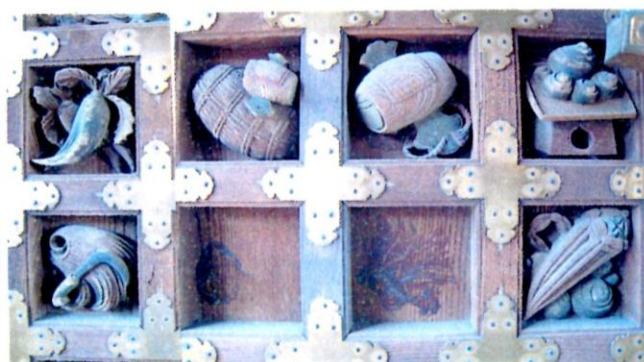
東京府
橘町二丁目 (現・東日本橋三丁目)
松坂屋傳兵衛



大沢香取神社本殿の彫刻 12. 南側（正面）・全体



大沢香取神社本殿の彫刻 13. 南側（正面）・扉



大沢香取神社本殿の彫刻 14. 南側（正面）・上部

「唐子群遊（からこぐんゆう）」のうちの「籠伏の鶏」



左右の彫刻の中に「書」の柏屋彌平太と「籠伏の鶏」の柏屋久右衛門の像が刻まれている。



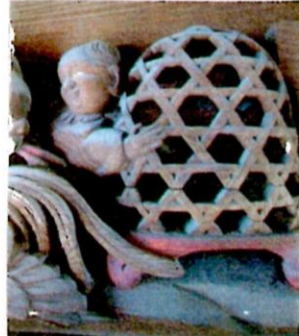
「琴棋書画（きんきしよが）」のうちの「書（習字）」



柏屋彌平太（俳号は「氷佳」）



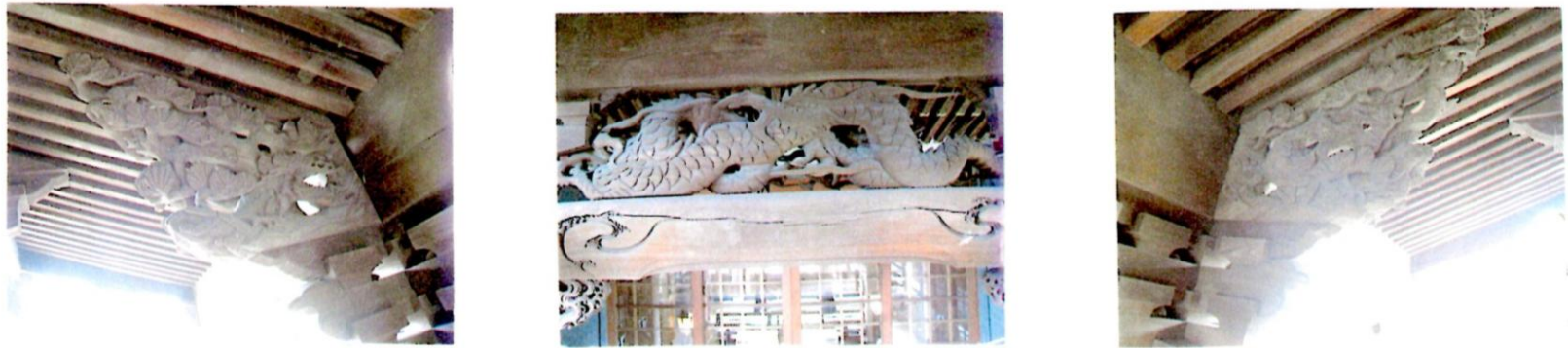
柏屋久右衛門



大沢香取神社本殿の彫刻 15. 南側（正面）・屋根下



南側（正面）・屋根下（本殿から拝殿に向かったの写真）



大沢香取神社本殿の彫刻 16. 本殿棟札 むなふだ

- | | | | |
|--------|-----------|----------|-------|
| 世 上組 | 中島清兵衛 | 大工棟梁 | 当所 |
| 大垣久左衛門 | 当所 | 岡崎弥惣八 | 鷹頭 |
| 上原森右衛門 | 同 | 建川勘五良 | 深野萬次良 |
| | | | 福嶋萬太良 |
| 話 中組 | 黒田市左衛門 | 脇棟梁 | |
| 深野太右衛門 | 二合半領三輪野井村 | 大竹左近藤原照滋 | 岡太郎 |
| 小林七左衛門 | 草加宿 | 立川三五郎 | 平次良 |
| 村松武兵衛 | 彫物師 | 浅草山谷町 | 弥助 |
| | 当所 | 長谷川竹次良 | 伊三良 |
| 人 下組 | 廣瀬彌七 | 石工政吉 | 吉五良 |
| 岡崎新八 | | | 和吉 |
| | | | 勝五良 |



高さ一〇四センチメートル、幅上部二五センチメートル、下部二二・五センチメートル

(バン) 奉再殿香取大明神本地供氏子安全如意攸所

慶應二丙寅年 武州埼玉郡新方領大沢町
 八月吉祥日 別当光明院住法印諦信代